

令和 3 年 9 月 7 日

地震・火山噴火予知研究協議会
議長 谷岡 勇市郎 様

団体名.....国立研究開発法人 防災科学技術研究所...
代表者の職・氏名
理事長・林 春男.....
所在地.....
茨城県つくば市天王台 3-1.....

後 援 名 義 申 請 書

下記の事業について、地震・火山噴火予知研究協議会の後援名義を受けたいので、申請します。

記

事業名	火山災害軽減のための方策に関する国際ワークショップ 2021
実施日	2021 年 12 月 3 日 (金)
会場	山梨県富士山科学研究所
事業趣旨又は目的	噴火発生時の人的被害を減らし火山における登山者・観光客の安全を確保するためには、地方自治体をはじめとする関係機関による事前対策・噴火時対応が必須であり、火山研究者にはその対策・対応に資する研究開発が求められる。このような観点から、国内外の活火山周辺における安全対策やそのための研究開発の在り方について議論を行う。
対象	行政担当職員、一般市民、研究者
入場・参加料金	なし
主催・共催	主催： 国立研究開発法人防災科学技術研究所、山梨県富士山科学研究所
他の後援等（申請中のものも含む）	文部科学省、日本火山学会、富士山火山防災対策協議会
その他参考となる事項	別添資料として実施要項（案）を添付

以上

実施要項(案)

火山災害軽減のための方策に関する国際ワークショップ 2021

- 火山における登山者の安全確保 -

開催日：2021年12月3日（金）13時～16時

場 所：※オンラインで実施

会場：山梨県富士山科学研究所 富士山研ホール

（〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田字剣丸尾 5597-1）

対 象：行政担当職員、研究者、一般市民

主 催：国立研究開発法人防災科学技術研究所、山梨県富士山科学研究所

後 援：文部科学省、特定非営利活動法人 日本火山学会、富士山火山防災対策協議会、
地震・火山噴火予知研究協議会

目 的：日本には 111 の活動的な火山があり、その中には火口近傍まで登山者（観光客を含む）が訪れることのできる火山が多く存在する。2014年の御嶽山噴火（日本）や2019年のホワイトアイランド火山噴火（ニュージーランド）では、突発的な噴火により多くの登山者に被害が出た。噴火発生時の人的被害を減らし火山における登山者の安全を確保するためには、地方自治体をはじめとする関係機関による事前対策・噴火時対応が必須であり、火山研究者にはその対策・対応に資する研究開発が求められる。このような観点から、国内外の活火山周辺における安全対策やそのための研究開発の在り方について議論を行う。なお、これまでは海外から複数の火山研究者を招聘してご講演いただいていたが、本年度は新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないことから、海外研究者については、オンラインでの参加を軸に調整を進める。

講演者：（候補；敬称略）

Harry Keys（ニュージーランド自然保全省）

Thomas E. Jones（立命館大学アジア太平洋大学）

稗田 実（長野県王滝村）

宮城 洋介（防災科研）

パネルディスカッション（敬称略）

コーディネーター：吉本充宏（富士山研）

パネリスト：Harry Keys（ニュージーランド自然保全省）※オンライン参加

Thomas E. Jones（立命館大学アジア太平洋大学）

稗田 実（長野県王滝村）

太田 安彦（マウントフジトレイルクラブ）

宮城 洋介（防災科研）

12月3日（金）国際ワークショップ タイムスケジュール（敬称略）

司会進行：宮城 洋介（防災科研）

13:00～13:10	開会の挨拶：林 春男（防災科学技術研究所 理事長） 趣旨説明：中田 節也（防災科研火山研究推進センター センター長）
第1部（講演） 火山における登山者の安全確保	
13:10～13:40	講演1：Harry Keys（ニュージーランド自然保全省）※オンライン （仮題）「ニュージーランド・トンガリロ火山における安全対策」
13:40～14:10	講演2：Thomas E. Jones（立命館大学アジア太平洋大学） （仮題）「富士山における登山者・観光客の安全確保」
14:10～14:30	講演3：稗田 実（長野県王滝村） （仮題）「御嶽山における登山者向け火山防災対策」
14:30～14:50	講演4：宮城 洋介（防災科研） （仮題）「登山者動態データの取得と防災利用」
14:50～15:00	休憩
第2部（パネルディスカッション） 火山における登山者の安全対策	
15:00～15:50	コーディネーター：吉本充宏（富士山研） パネリスト： Harry Keys（ニュージーランド自然保全省）※オンライン Thomas E. Jones（立命館大学アジア太平洋大学） 稗田 実（長野県王滝村） 太田 安彦（マウントフジトレイルクラブ） 宮城 洋介（防災科研）
15:50～16:00	閉会の挨拶：山本盛次（山梨県防災局長）

INTERNATIONAL WORKSHOP ON STRATEGY OF VOLCANIC DISASTER MITIGATION 2021

火山災害軽減のための方策に関する

国際ワークショップ2021

— 火山における登山者の安全確保 —

噴火発生時の人的被害を減らし、火山における登山者の安全を確保するためには、国や地方自治体、関係機関による事前対策・噴火時対応が必須であり、火山研究者にはその対策・対応に資する研究開発が求められる。ここでは、国内外の活火山周辺における安全対策や研究開発のあり方について議論する。

第1部 火山における登山者の安全確保

Harry J. Keys (元ニュージーランド自然保護局) / Thomas E. Jones (立命館アジア太平洋大学) / 稗田 実 (長野県王滝村役場 総務課 財産管理係) / 宮城 洋介 ((国研) 防災科学技術研究所 火山防災研究部門)

第2部 パネルディスカッション

吉本 充宏 (山梨県富士山科学研究所) / Harry J. Keys / Thomas E. Jones / 稗田 実 / 太田 安彦 (マウントフジトレイルクラブ 代表理事) / 宮城 洋介

日時 **12.3** 金
13:00 ▶ 16:00

オンラインで開催!

どなたでもご参加いただけます

参加費
無料

事前
申込み

同時
通訳付

11/26 (金) まで /

お申込み

①

QRコードより、
フォームに必要事項を
ご入力の上、送信ください。



②

お申込み後、配信 URL に関するご案内メールを
送信いたします。開催時間になりましたら
お手持ちの PC またはスマホよりご視聴ください。

お問合せ

(国研) 防災科学技術研究所 火山防災研究部門
☎ 029-863-7536
✉ kazan-ws2021@bosai.go.jp



山梨県富士山科学研究所 広報・交流担当
☎ 0555-72-6201
✉ kouryu@mfri.pref.yamanashi.jp



主催 (国研) 防災科学技術研究所 / 山梨県富士山科学研究所

後援 文部科学省 / NPO 法人 日本火山学会 / 富士山火山防災対策協議会 / 地震・火山噴火予知研究協議会

国際ワークショップ2021 プログラム

日時：2021年12月3日(金) 13:00-16:00 会場：オンライン
司会進行：宮城 洋介 ((国研) 防災科学技術研究所 火山防災研究部門)

13:00 ▶ 13:10 — 開会の挨拶 林 春男 ((国研) 防災科学技術研究所 理事長)
趣旨説明 中田 節也 ((国研) 防災科学技術研究所 火山研究推進センター センター長)

第1部 火山における登山者の安全確保

13:10 ▶ 13:40 — 講演1「トンガリロ国立公園における、登山者、スキー客、観光客のための火山危機管理」
Harry J. Keys (元ニュージーランド自然保護局)

13:40 ▶ 14:10 — 講演2「(コロナ禍以前の) 富士山における外国人及び日本人登山者のモニタリング」
Thomas E. Jones (立命館アジア太平洋大学 教授)

14:10 ▶ 14:30 — 講演3「御嶽山における登山者向けの火山防災対策」
稗田 実 (長野県王滝村役場 総務課 財産管理係)

14:30 ▶ 14:50 — 講演4「日本の火山における登山者動向把握実験」
宮城 洋介 ((国研) 防災科学技術研究所 火山防災研究部門)

休憩

第2部 パネルディスカッション-火山における登山者の安全対策-

15:00 ▶ 15:50 — コーディネーター 吉本 充宏 (山梨県富士山科学研究所)
パネリスト Harry J. Keys (元ニュージーランド自然保護局)
Thomas E. Jones (立命館アジア太平洋大学)
稗田 実 (長野県王滝村役場 総務課 財産管理係)
太田 安彦 (マウントフジトレイルクラブ 代表理事)
宮城 洋介 ((国研) 防災科学技術研究所 火山防災研究部門)

15:50 ▶ 16:00 — 閉会の挨拶 関 尚史 (山梨県防災局 富士山火山防災監)

※講演タイトルは変更になる場合があります。